



みなみみのわ

議会だより

No. 146

2024.8.1

発行



元気よく 全カスレー!

JBC 伊那

南小ドラゴンズ



一般質問動画 配信中

QRコードから各議員の一般質問動画が観られます。

インターネット村ホームページ→村議会→本会議録画中継→定例会



6月定例会・臨時会 P2・3

村民の声を聴く会・若者議会、中学生議会 P4・5

一般質問 P6~13

議会活動 P14・15

きらきら村の仲間たち

(南小ドラゴンズ・JBC伊那) P16・17

モニターの声 P18

太陽光発電施設設置条例 可決

6月定例会は6月3日から6月14日までの日程で開かれました。7議案はすべて原案のとおり可決。請願2件、陳情3件は採択され、意見書4件が採択されました。そのほか議員提出の意見書1件が採択となり、議会運営委員会提出の議案(議場でのタブレット端末使用・水分補給を可とする改正)2件が可決されました。



	件名(議案名はわかりやすく簡略表記しています)	賛成	反対	議決結果
条例	村太陽光発電施設の設置等に関する条例 ▶村ガイドラインに基づき定めた条例	9	0	可決
令和6年度補正予算	一般会計補正予算(第1号)	9	0	可決
	一般会計補正予算(第2号)	9	0	可決
	水道事業会計補正予算(第2号)	9	0	可決
	水道事業会計補正予算(第3号)	9	0	可決
	下水道事業会計補正予算(第1号)	9	0	可決
その他	財産の取得について(小中学校シンクライアントシステム更新に伴う物品購入) ▶契約の相手方 東日本電信電話(株)埼玉事業部長野支店 89,625,035円	9	0	可決
議会提案	村議会会議規則の一部を改正する規則 ▶議場に持ち込める携帯品の変更と電子機器等の追加	9	0	可決
	村議会傍聴規則の一部を改正する規則 ▶傍聴人の守るべき事項の変更	9	0	可決
	▶国の指示権を拡大する地方自治法改正案の慎重審議を求める意見書(提出者:笹沼) ●意見書に賛成:三澤 無制限に国の関与を認める方向は地方自治の確立に逆行する。原則を超えた指示権の行使は、憲法違反であり自治をゆがめる。 ●意見書に賛成:百瀬 地方分権一括法で国と地方は「対等」の関係。指示権行使は現場の事情を十分把握して双方の意思疎通を図ることが欠かせない。	9	0	採択  ↑意見書
請願・陳情	「さらなる少人数学級推進と教員増のための教育予算確保」・「義務教育費国庫負担制度の堅持・拡充」を求める請願書 ▶福祉教育常任委員会は採択 ●請願に反対:百瀬 趣旨は理解できる。義務教育費国庫負担が2分の1になっても教員を取り巻く課題は解決しない。足下の課題に目を向けるべき。	8	1 (百瀬)	採択  ↑意見書
	「へき地教育振興法に鑑み、へき地手当等支給率を近隣県並みの水準に戻すこと」を長野県知事に求める請願書▶福祉教育常任委員会は採択	9	0	採択  ↑意見書
	女性差別撤廃条約選択議定書の速やかな批准を求める陳情 ▶総務経済常任委員会は採択 ●陳情に反対:西森 国連の女性差別撤廃委員会へ通報する際の条件が厳しく、住民福祉の向上やジェンダー平等の解決には直接つながらない。	7	2 (西森) (加藤)	採択  ↑意見書
	訪問介護費の引き下げ撤回と、介護報酬引き上げの再改定を早急に行うことを求める陳情書▶福祉教育常任委員会は採択	9	0	採択  ↑意見書
	餌やり猫及び生活困窮者の猫の避妊去勢手術助成制度の創設を求める陳情 ▶福祉教育常任委員会は採択	9	0	採択

主な事業内容と補正額



住民税非課税世帯等重点支援給付金 3,000万円
定額減税調整給付 8,000万円
物価高騰対応重点支援交付金こども加算 225万円

令和6年第3回臨時会(5月13日)

件名(議案名はわかりやすく簡略表記しています)	賛成	反対	議決結果*
専決処分事項の承認 村税条例の一部改正	8	0	承認
専決処分事項の承認 村国民健康保険税条例の一部改正	8	0	承認
専決処分事項の承認 令和5年度国民健康保険事業特別会計補正予算(第4号)	8	0	承認
令和6年度水道事業会計補正予算(第1号)	8	0	可決
南箕輪小学校LED化工事に係る工事請負契約の締結 ▶契約の相手方 株式会社エイ・エム・シイ 6,292万円	8	0	可決

議会のことば



「一般質問」って?

議員が村長や教育長などに対して、村の施策の状況や方針などについて質問することを「一般質問」といいます。持ち時間内(当議会は50分)に充実した質問・答弁とするため、原則としてあらかじめ内容を通告しておくことになっています。



定例会最終日の動画をこちらからご覧いただけます

村民の声を聴く会

村内 12 地区に議員 5 人ずつ出向き、
みなさまのご意見をお聴きします。

今年度も
やっています!



事前申し込み不要!

ご参加お待ちしております!

日 時	開催場所
8月10日(土) 10時~	久保 コミュニティーセンター
8月17日(日) 10時~	中込公民館

<すでに開催>

- 5月17日(金)……大泉区
- 5月18日(土)……南原区・南殿区
- 5月19日(日)……塩ノ井区
- 6月30日(日)……北原区・田畑区
- 7月13日(土)……大芝区・神子柴区
- 7月20日(土)……沢尻区・北殿区

ご参加くださったみなさま、ありがとうございました!

<議会を傍聴しませんか?>

どなたでも傍聴できます

一次回定例会は—

9月2日(月)から開催予定です。

決定日時はホームページで
ご確認ください。



問い合わせは議会事務局まで

予告

開催します!

<若者議会 2024!>

「村のために発言したい!」「一般質問を体験したい!」など、村政や議会に関心のある若者が名乗りをあげました。県下一若い村である南箕輪村をさらに住みよい村にするために、村政への意見・提言を述べます!

【日時】 令和6年10月25日(金) 夕方

【場所】 村役場3階 議場



<中学生議会 2024!>

南箕輪中学校3年生が議員として登壇!南箕輪村の未来を担う中学生が、生徒の視点で地域の問題や将来についてより深く考え、村政への意見・提言を述べます!

【日時】 令和6年11月28日(木) 午後

【場所】 村役場3階 議場



傍聴に行こう!



※どなたでも傍聴できますが、傍聴席には限りがあります。ご了承ください。
※開催日時は変更になる場合があります。議会ホームページ、または議会事務局にてご確認の上お越しください。

【問い合わせ】

南箕輪村議会事務局 電話:0265-72-2361 FAX:0265-72-2463
E-mail:gikai-d@vill.minamiminowa.lg.jp



問 自立持続可能性自治体に選ばれた感想は

答 住民の将来に向けた安心につながるのでは(村長)

唐澤由江

問 南箕輪村が自立持続可能性自治体に選ばれたが、村長の感想は。

村長 自立持続可能性自治体とは、人口の移動が一定程度続く場合と、移動がないと仮定した場合の若年女性の減少率が20%未満にとどまる自治体とされる。住民の将来に向けた安心につながるのではないかと思う。これを契機に不動産事業者等民間企業の投資的活動が促進することを願う。

問 10年前と比較して職員1人が住民何人を支えているか。

村長 H26年人口14,988人で、職員数は147人で1人あたり住民を102人支える。R6年人口16,041人に対し職員数176人、1人あたり住民91人となる。県が公表している市町村経常経費分析では、R4年度では人口1,000人あたり9.74人。類似団体は9.92人なので村は0.18人低い。それほど職員数が多いとはとらえていない。

問 さらなる発展策はあるか。

村長 移住者に一過性の補助は行ってないが、他町村にはない高齢者への福祉移送サービスや、障がい者の家賃補助、介護支援金がある。しあわせに暮らせる村、人と人とのつながりのある村、自然とのつながり、自治会のあり方、地区公園の整備、自宅以外の居場所づくり、大芝高原の環境充実などの村づくりをしていく。



大芝公園のササユリの群生

地区の公園整備の内容は

問 村の公園の場所を周知するためにも公園一覧表を作成してみてもいいか。

村長 子育て世帯には「子育て支援ハンドブック」に村内18か所の公園一覧表があり確認できる。その他の世帯への周知としては、改定を予定している「南箕輪村暮らしの便利帳」の中に公園一覧を掲載したい。

問 計画している大泉公園の場所の選定は、地区で検討することになっているが、危険が生じないように考慮する必要がある。※青地の農地転用を検討してはどうか。

村長 大泉区の要望に基づき地区計画事業を進めている。候補地の選定や地権者の交渉は基本的に大泉区で進めている。候補地の選定は利用する子どもの安全性を考慮したうえで検討をお願いしたい。候補地が交通量の多い道路沿いであった場合は、子どもやボールが道路へ飛び出す危険が少なくなるよう、駐車場の配置やフェンスの必要性など、安全を十分に配慮する計画にしたい。村が行う公園設置であれば農業振興地域除外が可能となり、農地転用も許可不要で取り扱い可能だが、農地保全の観点や将来的に農地を分断しないよう、できる限り※白地での検討をお願いしたい。

問 公園設置には地元負担金がかかり、区の負担が増大する。負担金の見直しはできないか。

村長 将来新しい公園の設置は数が限られてくると予想している。これまでとの公平性の観点から負担金については現状のままと考えている。

※ 青地 農業振興地域内農用地区域内農地
白地 農業振興地域内農用地区域外農地



問 区の交通安全係と交通安全協会との区別は

答 重複する活動もあり整理する必要がある(村長)

西森一博

問 交通安全係と交通安全協会との事業が似ているが区別されているのか。

村長 交通安全係には交通安全施設の点検、管理、停止線の塗り直しなどを依頼。交通安全協会は街頭啓発活動、交通安全教室などが主な活動となっている。重複する活動もあり各地区の事業においても曖昧でもあるため、自治会検討委員会でも整理する必要があるとの意見が出ており、交通安全協会に集約していく方向で検討を始める。



問 一般財団法人である交通安全協会の事務局が役場総務課に置かれている理由は。

村長 明確な理由はわからない。村の交通安全協会はS49年に組織化されS56年から各区で交通安全部長の選出をお願いしてから、交通安全協会の理事と支部長を兼務してきた。

問 区ごとに特色ある交通安全への取り組みも必要だと思うが村長の考えは。

村長 自主的な特色ある交通安全の取り組みは大切なことであり、地域の交通安全意識の向上につながると思われる。

問 のぼり旗などを設置する場所や設置方法など村で基準を設けてはどうか。

村長 長野県屋外広告物条例を基本として各区や交通安全協会に周知することで基準に代わるものとしたい。

入札について

問 入札価格は物価高騰や人件費高騰を踏まえた積算がされているか。

副村長 長野県の建築工事資材単価表や建設物価調査会が出版する書籍などを参考にし、必要に応じて長野県の住宅供給公社や建築コンサルタント事業者に照会を求めると、物価や人件費の高騰等を反映した積算に努めている。

問 建築コンサルタントの最低制限価格の割合が引き上げられてない理由は。

副村長 国の主要発注機関でつくる最低入札価格調査基準の「中央公契連モデル」の準拠に合わせている。建築コンサルはモデルの基準と同じ割合のため変更せず据え置きとしている。

問 建築コンサルタントの最低制限価格の割合を一定にしないのか。

副村長 直接工事費や直接人件費と違い、一般管理費や諸経費は経営努力により変わるため、設計業務による最低制限価格の割合が変動することは適切であり一定にする考えはない。しかし「中央公契連モデル」の基準が変われば割合の引き上げを検討する。

問 総合評価落札方式が実施される事業とは。

副村長 予定価格が1億円を超える大規模工事等で工事実績、技術者の実績、社会貢献などを評価する必要があり、村の建設工事等請負人選定委員会が判断した事業において実施する。

問 総合評価落札方式の入札を増やすのか。

副村長 総合評価落札方式は案件ごとに評価基準を設定し、評価基準が適切かを長野県総合評価技術委員会で審査してもらう。一般競争入札より時間を要するため、大規模かつ技術力が必要な工事にだけ実施したい。



問 創生総合戦略の基本目標は的確か

答 的確であると考えている(村長)

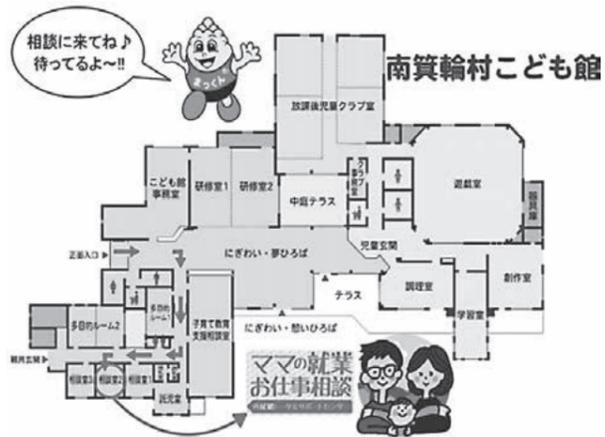
太田 篤己

問 村は人口戦略会議が公表した地方自治体持続可能性レポートによると、自立持続可能性自治体に位置づけられた。これを踏まえ、村総合戦略の基本目標とその施策をどう評価するか。

村長 基本目標は的確であると捉えている。むらづくり委員会において、数値目標に対する検証を受けており、R4年度事業の検証結果は28項目中22項目が順調または概ね順調であるとされ、全体とすれば施策が堅実に実行されていると判断している。

問 村単独での自立維持対策は限界がある。積極的に近隣市町村との政策連携に取り組むべきと考えるが、村長の考えとその対応は。

村長 近隣市町村と広域的に連携し事業を進めることは大変重要な視点である。上伊那広域連合では、業務システムの共同利用をはじめ、移住や若者回帰の促進について取り組んでいる。また、箕輪町とは独自に女性就業支援事業を実施しており成果を上げている。今後も近隣市町村との事務担当者連絡会で、広域的連携が有効な施策や事業があれば積極的に取り組んでいきたい。



基本構想の策定について

問 R8年度から始まる第6次総合計画の根幹となる基本構想について、村長が盛り込みたいと考えるテーマは。

村長 基本構想の策定においては、私の思いがテーマになるわけではないが、公約でもある「いつまでも幸せに暮らせる村の実現」に向けて、理解が得られる範囲で「自然と人とのつながり」を理念として基本構想に盛り込んでもらえば大変ありがたいと考える。

定額減税について

問 6月から始まった定額減税について、村が行う給付型の減税措置はどのようなものになるか。

村長 納税額が4万円に満たないなど減税額が納税額を上回る場合は、差額を1万円単位で切り上げて給付する。現時点での想定では対象者を3,100人、給付総額を約8,000万円と見込んでおり、申請書提出により金融機関口座への振り込みで給付する。8月上旬から申請書を順次発送し給付をしていく予定。この財源は国からの地方創生臨時交付金で全額措置される。

問 村の事務面への影響と、それに伴い増加するコストをどう予測しているか。

村長 事務面は、住民からの問い合わせが多くなると予想されることや、煩雑な事務作業により、職員の事務量は過大になると想定している。コスト面は、国費で補てんされないシステム改修費、会計年度職員人件費など概算で970万円。ただし、職員の人件費は補てんの対象外となる。今回の定額減税の方式全体でみると、自治体に限らず企業の事務負担も大きく、これに携わる人々への配慮が必要ではないかと感じる。



問 通勤時間の農道などの安全対策を

答 まず調査し、対策を進める(村長)

山崎 文直

問 朝の通勤時間帯に村道が非常に混雑しており、避けるために農道を走る車が増加している。大事故が起きる前に対策が必要。まずは状況調査を。

村長 村内の国道県道、アクセス道路、春日街道、広域農道など主要幹線道路の交通混雑がみられる。それを避け、せまい村道を抜け道として走る際、さらなる渋滞や交通事故の恐れも見受けられる。場所によっては児童生徒の通学路にもなっており危険箇所もあり、現状を把握したい。特定できれば付近の状況等により関係機関や当該地区と協議しながら対策を進める。

村でも把握に努めるが、住民や関係者からの情報提供、通学路であればPTA等を通じて通学路安全推進協議会等に対策要望を寄せてほしい。村全体の対策が必要になれば村交通安全対策協議会において進めたい。指摘のあった村内西側のエリア、伊那インター工業団地への通勤車はかなり増加している。ピーク時間帯は許容できる範囲を超えてきている。近いうちに交通煩雑の対策は講じなければと考えている。

問 農道には交差点の標識などいくつかあるが、当面の対策として標識の増設を行っては。

村長 毎年、地区要望や通学路交通安全対策プログラムに基づき、村でできる看板や標識の設置を進める。公安委員会が設置する標識や横断歩道についても要望書を提出し、実現に向けて働きかけていく。標識により解消ができるならば設置を検討していきたい。

問 農道の各所にすれ違いのエリアを設けては。

村長 エリアを設けることは抜け道を助長することになる。抜け道にならない対策を考えたい。通学路を兼ねている所に設けることは重要だ。



農道を抜ける通勤車

道路わきの樹木の枝対策

問 樹木の枝が伸び通行に支障になる所もある。処理のよびかけが必要。

村長 土地の所有者に処理してもらおうが、すぐに対応できない場合や緊急時、交通量が多くて通行に支障をきたす場合については、承諾を得て村が伐採することもできる。道路法第30条でも道路上の安全な通行を確保するため、車道の上空4.5m、歩道の上空2.5mの範囲内に障害物を置いてはならないとある。張り出した枝等で事故ある場合は所有者が責任を問われることがあるので、適切な管理をお願いする。広報紙・ウェブサイト等でも呼びかける。

問 シルバー人材センターの紹介も進めては。

村長 以前から問い合わせがある場合は、センターや伐採業者を紹介している。高所や斜面についてはセンターで対応できない場合があるので状況に応じて対応している。

問 間伐事業補助金の対象になるか。

村長 道路、住居等に影響を及ぼす支障木の伐採が対象となる。垣根の剪定は対象ではない。R6年度から2年間、補助率を30%から50%に引き上げたので、ぜひ活用してほしい。



問 給食の「村産村消」を推進するコーディネーター配置の考えは

答 コーディネーターの選定は非常に重要(村長)

笹沼美保

問 村長が掲げる「村産村消」(村内産農産物利用促進)の目的や効果は。また、どのような未来を描いているか。

村長 目的や効果としては、新鮮な農作物が手に入る、地域活性化につながる、地域の農業を守る、輸送にかかる環境負荷が低減されるなど、村の地産地消促進計画に謳っているとおり。農作物を通じた人と人とのつながりや交流、自然とのつながりが「いつまでも幸せに暮らせる村」づくりに寄与していく未来を描いている。

問 学校給食センターの受け入れ態勢として、村産村消に対応するには不十分な点も多い。納品時の動線(納品業者の待機場所やルール)の整備、プラットホーム(軽トラ軽バンには高すぎる、ひさしが短い)の問題点解決は可能か。

教育長 動線整備は、現場の状況を踏まえて行う。プラットホームの高さは、給食配送車両の規格と、小中学校のプラットホームの高さから、作業効率を重視して90cmとした。軽トラ軽バン納品の生産者には負担だと承知している。ひさしは予算を抑えるため、最低限の長さにした。いずれも費用負担を伴えば解決可能。これらの課題が「村産村消」の大きなハードルになるのか、全体から検討していく必要がある。



村の子どもたちに村の農産物を!



問 犯罪被害者支援条例の制定を

答 今年度中に制定を検討していく(村長)



百瀬輝和

問 犯罪被害者の支援のために犯罪被害者支援条例を村でも制定しては。

村長 犯罪被害者支援条例は県の調査ではR6年4月現在、県内で「制定済」が55市町村、「検討中」が15市町村、「検討していない」が7市町村である。村でも今年度中に制定できるように担当課で進めている。犯罪被害はいつ巻き込まれるかわからない。そうなったときに被害者に寄り添い関係機関と連携して支援していきたい。

ネットの安心安全を

問 南箕輪村ネット安心条例(仮称)を村でも制定しては。

村長 インターネットは子ども、大人も日常生活で使われているツールになっている。多様なコミュニケーション、情報収集、情報発信などの恩恵もあるが、誹謗中傷、人権侵害も起こっている。学校では発達段階に応じて情報モラルやネットリテラシーの教育を行っている。社会教育では毎月23日をアウトメディアデーと決めて取り組んでいる。まずは学校や社会教育での取り組みをさらに押し進めていく。条例制定は状況を見て判断していきたい。

高齢者の活躍を応援する取り組みを

問 高齢者活躍地域相談センター(仮称)の設置を。

村長 高齢者の持てる力を活かせる活躍の場をつくっていくことは大切なことである。また、就労やボランティア活動の社会参加はフレイル予防の観点からも有効である。R4年度県の調査で村の「元気高齢者の社会参加」は64.5%県内14位、「収入のある仕事に参加」は40.3%県内18位であった。提案の高齢者活躍相談セ

ンターは、マッチングの場になり高齢者の居場所となれば望ましい。国でも検討している状況なのでその動向をみて検討していきたい。

問 高齢者活躍推進協議会(仮称)の設置を。

村長 行政、シルバー人材センター、社会福祉協議会、ボランティア団体、商工会等高齢者の就業や社会参加に関係する団体が連携して地域の実情や課題解決を協議していく協議会であると思う。行政側の人員体制や関係機関との連携構築が必要になる。国でも検討が進んでいる状況なのでその動向をみて検討していきたい。



村民の知る権利について

問 南箕輪村情報公開条例の運用は。また閲覧事務取扱基準を定める規定の制定を。

村長 村情報公開条例は村民の知る権利を尊重し、村政活動を村民に説明し、村の責任を果たす考え方を基に村民すべてが村政に参加し、開かれた透明性の高い村政を実現するため制定されている。また求められた個人、法人の情報について十分に保護する配慮も必要である。実績はR3年度17件、R4年度14件、R5年度11件の申請があり、すべて適切に運用をされている。閲覧事務取扱基準を定める規定は、必要に応じて運用マニュアルも含めて検討していきたい。



問 村政150周年の企画は

答 大芝高原で大規模な植樹祭など(村長)

加藤 泰久

問 村政150周年は、どのような企画を考えているか。

村長 キャッチフレーズ『150年の人と木 未来へつなぐ幸せなひととき』を制定。10月に大芝高原で大規模な植樹祭。村政100年～150年の村誌補遺編。村民歌の歌碑を作成し、役場正面玄関前に設置。こども館東側に公園の設置等を計画している。

問 計画、準備の進捗状況はどうか。

村長 R4年度から庁内職員による150年記念事業プロジェクトチームで検討を進めてきている。R5年度にはクリアファイル、まっくん軍手、クッキー、ステッカーを制作し配布してきた。今後は懸垂幕、大小ののぼり旗を掲示していく。R6年にまっくんが150年記念タスキを着用している。記念ポロシャツも作成する。広報紙には毎月特集を組み、20回を超えてきた。7月の七夕灯籠祭り、森の音楽祭、8月の大芝高原まつり、10月のイルミネーション、11月の村文化祭で気運を高めていく。



問 記念日2月18日(火)当日の計画の概要は。

村長 式典2月16日(日)当日は歌碑のお披露目、記念講演、記念映像の上映を計画している。

問 150年の村の歴史に村長はどのように思うか。

村長 村における150年の歴史を振り返ってみると教育施設の充実、植林、用水の確保、第2次産業の発展、子育て環境の整備など、携わってきた人々に先見の明があったと感じ、努力に感謝する。

問 今後将来に向けての村の方針は。

村長 200周年に向けて大芝高原中心に森林の循環事業を構築していく。第6次総合計画の中で議論を重ねて作成する。

中学校経ヶ岳強歩について

問 歴史ある経ヶ岳強歩大会の意義、目的は。

教育長 個々の体力にあった距離を走る・歩くことを通してやりとげる経験をすると共に、精神力を鍛える。村の広大な森林や河岸段丘など、自分たちを取り巻く自然環境を体感することを目的としている。

問 コロナ禍での大会の中断、縮小後の復活は。

教育長 R元年までは8合目まで登った。R2年は緊急事態宣言で中止。R3、4年は大芝から登山口の大泉所ダムまで、R5年は学校から大泉所ダムまで、R6年は学校から14km、11km、7kmの3コースで行った。復活に関して検討したが、生徒の安全面、体力面、山への苦手意識もある。現在は500人を超える規模となっており、交通面で問題があり、朝の交通渋滞に苦言が寄せられている。教員、PTA、地域住民の協力はあがるが、今までのような形をとることに難しさがあり、総合的に判断して今年のような形をとった。

問 学校職員が大会に否定的と聞くが。

教育長 否定的とは思っていない。どうすれば目的が達成できるか、生徒の願う姿をかなえられるかを考えている。



問 ゼロカーボンに向けて目標達成の取り組みは

答 住宅断熱と耐震改修を併わせて優先して進める(村長)

三澤 澄子

問 太陽光発電10kw未満(住宅用)はR12年までに860棟増設の目標。どう進めるか。

村長 相談があれば県のエネルギー自立化促進補助金20万円を案内。R7年から村施策を計画に沿って進める。R4～6年度は公共施設のLED化を優先して来た。予算に限りがあり効果の高いものを優先していく。

問 10kw以上の各区公民館や事業所への設置は。

村長 避難所となる公民館は蓄電池の設置が重要。国交付金も活用し、要望のあるLED化と併わせて、優先して進める。

問 電動車(EV)の導入は。

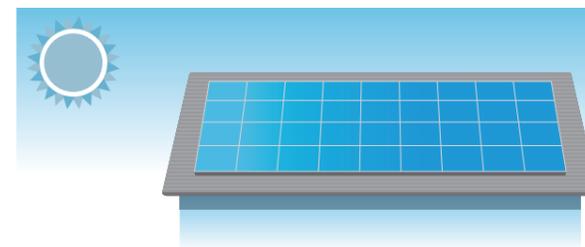
村長 庁内53台運用のうち2台が電動車、5台がハイブリット車。18年更新のリースで運用しており、順次更新になる。モバイルトイレのけん引車はPHEV(プラグインハイブリット)車で災害時対応になっている。

問 木質バイオマス、有機バイオマスの推進は。

村長 ペレット、薪ストーブに補助をし年間10件の設置を目標にする。大芝の湯リニューアル工事設計で省エネ対応可能エネルギーの導入を検討。ボイラーは、再エネ、木質、ハイブリット、温泉熱利用等研究する。

問 森林整備による二酸化炭素の吸収推進は。

村長 村の森林は23.06haあり、大芝高原森林整備計画に沿って6042tの吸収量を維持していく。



機構改革による教育委員会の体制について

問 150周年事業に向けて、村文化財の保管、整理展示に大芝荘の活用は。

教育長 会計年度任用職員1名配置。文化財について大芝荘は、部屋が大きく、窓の陽射しを遮る工事、空調、セキュリティー等課題もある。環境を整えて、虫干し、整理部屋に活用したい。長い展示は難しく、1日限定などになる。村民センターホワイエ、図書館の展示は今まで通りできる。

問 こども施設係は、学校給食センター、放課後児童クラブ、児童館としてのこども館を担当。管理する側面が強かったこども館の利用は、子どもが主体の開かれた運営になるのか。窓口、担当が変わり、受け付けのたらい回しや対応の不備が生じている。

教育長 こども館の責任者は教育長。子育てはこども課、女性就業は地域づくり推進課で村長が責任者。放課後児童クラブの体制もあり、こども館利用は通常どおり開放している。新体制の検証もしている。窓口のすれ違いがあったが、地域の団体の利用も今までと同じ利用が出来る。

持続可能な自治会検討、村報配布について

問 持続可能な自治会検討で、広報紙のデジタル化の検討がある。村民の受け止めは、村の施策、行事が知らされず切り捨てられるの声。アンケートは、塩ノ井、南原、大泉の1500人で行う。公平なアンケートは全村からの抽出だ。数も1500では不十分だ。広報紙は人と人を繋ぐ大事なツールであり、全村配布するのが基本だ。

村長 広報紙のペーパーレスは時代の流れ。デジタル化を検討している。アンケートは、400件で効果があるとされ、特徴的な3地区を選んだ。3地区のデータを分析して、方向性を出す。広報紙、デジタル併用でいきたい。

令和6年度主要事業ヒアリング

5/10 5/14

5月10日に総務経済常任委員会、5月14日に福祉教育常任委員会が、関係各課への主要事業ヒアリングを行った。(以下、説明の一部を抜粋)

◆総務経済常任委員会

- <総務課> 機構改革により2係体制となり、勤怠管理システムの導入や広報誌のデジタル化の検討などに取り組んでいる。
 - <危機管理課> 機能別消防団の検討、自主防災会や赤十字奉仕団との連携を深めた災害対策を推進する。
 - <財務課> 大芝高原の施設整備、公園整備など将来に向けた積極的な投資を実施。
 - <地域づくり推進課> 地域活動支援などの区長会の相談窓口を一元化した。
 - <産業課> 風の村米だよりの生産拡大や農地の地域計画などを進めている。
 - <建設水道課> 老朽化してきたインフラの点検や補修を実施。
 - <観光森林課> 松くい虫被害対策を進め、大芝公園に新たにインクルーシブル遊具やRVパークの設置を実施する。
- ほかに会計室と議会事務局を含めた9つの部署より事業について確認した。

◆福祉教育常任委員会

- <住民環境課> 機構改革により住民と密接に関わり、総合窓口的な役割を持つ。10月から地区の不燃ごみの立ち合いをなくす。地球温暖化対策実行計画に基づき温室効果ガスの排出削減を目指す。
- <福祉課> 障害者福祉計画に基づき各種手当や補助事業を実施。高齢者福祉計画・介護保険事業計画に基づき、高齢者への配食サービス、認知症見守り支援、民生児童委員との連携によるひとり暮らし高齢者の安全確認等を行う。
- <健康医療課> 特定健診、がん検診等の受診率の向上、効果的な保健事業により健康寿命の延伸などを目指す。高校生以下の児童手当は無料とし、医療費を全額給付している。
- <こども課> 子どもの窓口一元化をこども館において進める。保育園は「こども誰でも通園制度」の本格実施を目指す。母子保健・産後ケア事業の実施、親子の相談業務を行う。
- <教育委員会> 中学校部活の地域移行を目指す。学校給食センターでは村産村消の推進を目指す。学校教育係はこども館においてこども課と連携し活動する。第4次読書活動の推進。地域活動で「自分発見・再発見」を推進。

アスパラ集出荷場視察 5/9

花壇作業 7/13



J A上伊那野菜選荷場



村道6号線花壇

商工会との懇談会 — 総務経済常任委員会 —

4月23日に商工会役員との懇談会が商工会館で行われ、村の三大イベントの課題や事業における人手不足、景気の状態、企業融資などの課題や意見が出された。総務経済常任委員会では、それらをまとめ、村への要望書として提出した。



懇談会のようす

令和6年5月22日

南箕輪村長 藤城 栄文 様

南箕輪村議会議長 原 源次

村の三大イベント及び商工業振興に関する要望書

総務経済常任委員会では4月23日に南箕輪村商工会との懇談会をおこない、経ヶ岳パーティカルリミット、大芝高原まつり、大芝高原イルミネーションフェスティバルの三大イベントや、景気動向、企業融資などの現状や課題について意見を聴き、将来に向けた村内の商工業振興と三大イベントの持続について下記のとおり要旨をまとめたので、村で検討・対応していただくよう要望します。

記

1. 現在の規模で今後も三大イベントを持続可能か村の意向を確認したい。
2. 大芝高原イルミネーションフェスティバルを持続するために保育園や学校など村民へイルミネーションの展示の協力の呼びかけしては。
3. 企業振興事業補助金での既存企業に対する補助年度の延長を望む。
4. 村商工業振興資金での追加融資枠の拡充と借換えの要件を緩和されたい。
5. 子育てしながらでも働ける就業支援と村を離れた子どもたちが住みたいと思える魅力ある村づくりを望む。



要望書提出

きらきら村の仲間たち

今回は、子どもたちの野球チーム「南小ドラゴンズ」と「JBC 伊那」にスポットを当て、インタビューしました。

南小ドラゴンズ



◎ 監督
根津 淳一さん
(久保在住)



◎ キャプテン
清水亮太郎さん
(大泉在住)

<チームの説明>

南小ドラゴンズは創立50年を迎える伝統ある少年野球チームです。南箕輪村にある小学校で、野球大好き子たちが集まり活動しています。6年生:7人、5年生:10人、4年生:1人、3年生:1人、2年生:3人が、厳しい練習に耐え、腕を磨き、心を鍛え、毎年複数の大会で優勝できるチームに成長してきました。また選手を指導する指導部は保護者から選出するのではなく、外部コーチを複数名置き、一人一人の選手に合った指導をしていることも特徴の一つです。

選手・保護者・指導部が1つになって熱い野球を楽しんでいるので、興味がある方は体験会にぜひお越しください。心からお待ちしております。m(_)_m

● どんなチームですか?

チームのビジョンを「感謝・感動・完全燃勝」と掲げ、毎年選手たちが1年間の目標を立て、その達成に向けて努力し、仲間を助け合い、励まし合い、チームワークを大切にできるチームです。結果、試合に勝てば全員でハイタッチして大喜びし、敗けた時は全員で反省会をして、次につなげられる切り替えの早いチームです。(*^^)v

● 子どもたちと接する時に大切にしていることは?

一人一人の選手の性格、走る・投げる・捕る・打つレベルをできる限り理解して接することを大切にしています。もう一つは「野球って楽しい」と思ってもらえるように接したいです。難しいですが(;^_^A アセアセ…

● これから目指すこと(目標)は?

目標に掲げた県大会出場に向け、全力でチーム力強化に努めます。

● 趣味は?

野球ですが、野球以外だとゴルフや洗車です。

● 好きな食べ物は?

カレー、担々麺

● 嫌いな食べ物は?

セロリ、パクチー

● 座右の銘(信条)は?

「好きこそ物の上手なれ」

● チームの良いところはどんなところですか?

みんなで笑って楽しく練習に励んでいるところと、ミスをして声もかけ励まし練習に取り組むところです。

● チームをまとめるのに苦労していることは?

細かいところを注意したり、だらけたりしている時は声をかけみんなを元気にする。あとコーチの指示をみんなに説明するところ。

● 思い出に残っている試合やエピソードは?

学童南信大会1回戦で、相手チームに先制を許したが次の回に逆転をし、また同点に追いつかれたが、選手みんなと保護者の声援もあり、逆転することに成功し勝利したことです!

● これからの目標は?

絶対に県大会出場!!!!

● 特技は?

右利きだけど左投げができること

● 好きな音楽(または芸能人)は?

Mrs.GREEN APPLE

● 好きなものは?

バット

● 嫌いなものは?

チョコ

● チャームポイントは?

耳が大きいところ

● 座右の銘(信条)は?

「実力より勇氣」



JBC 伊那



◎ 監督
森田 公俊さん
(沢尻在住)



◎ 団長
田中 雄大さん
(中込在住)



◎ キャプテン
田中 貴大さん
(中込在住)

● 趣味(または特技)は?

運動

● 好きな音楽は?

インフェルノ・僕らまた

● 好きなものは?

野球

● チャームポイントは?

興味わいたものに最後まで調べるところ

● 座右の銘(信条)は?

「努力は裏切らない」

<チームの説明>

現在6年生3人、5年生5人、4年生5人、3年生2人、2年生3人、1年生1人計19人で毎週土曜日に活動しています。

● どんなチームですか?

野球が好きの子、野球がうまくなりたいたい子、野球を楽しくやりたい子がいるチームです。

● 子どもたちと接する時に大切にしていることは?

子どもの気持ちを考えること。

● これから目指すこと(目標)は?

勝利することも大切ですが、子どもたちに野球の楽しさを伝えて、個々の能力を引き出し、次のステージへ送り出す。

● 趣味(または特技)は?

野球、バスケ等(スポーツ全般)

● 好きな音楽は?

ロック、パンク、J-POP

● 好きなものは?

お酒

● 嫌いなものは?

虫

● チャームポイントは?

子どもに好かれる性格

● 座右の銘(信条)は?

「やればできる」



● 保護者から見た監督・コーチの指導はどうですか?

子どもたち1人1人に寄り添い、その子に合った指導をしております。ただ教えるのではなく、子どもたち自身に考えさせ、現状を打開する方法を導いています。

● 保護者会のチームワークはどうですか?

大人のチームワークが1番良いかもしれません(笑)。皆で助け合い、チームの運営を行っております。

● 特に印象に残っているエピソードは?

エピソードではないのですが、昨今少子化や野球人口が減る中、新団員がたくさん増えました。1年生ですが女の子も入団してくれてチーム全体の雰囲気も変わりました。

● 大変だと思えることはありますか?

皆で協力してやっておりますのでそんなにありません。

● 趣味(または特技)は?

キャンプ、スポーツ

● 好きな音楽は?

大芝高原音頭

● 好きなものは?

お酒

● 嫌いなものは?

しいたけ

● チャームポイントは?

教えてください

● 座右の銘(信条)は?

「人事をつくして天命を待つ」結果よりも、そこまでにどれだけ努力してきたか、プロセスが大事だと思います。



● チームの良いところはどんなところですか?

・どんなピンチでもあきらめず最後まで戦う意志
・はげまし合うのがうまいチーム

● チームをまとめるのに苦労していることはありますか?

集中力がぎれた時にチームをまとめること。

● 思い出に残っている試合やエピソードは?

野球を好きにしてくれた憧れの人に会えたこと。

● これからの目標は?

チームをしっかりまとめられるようにしたい。



広報モニターの声

4月より新しく10名のみなさまに広報モニターをお願いすることになりました。モニターのみなさまから寄せられた議会だより誌面や議会に対するご意見を参考に、より親しみやすい議会だより、また議会になるよう努力してまいります。

145号(前号)誌面に対するご意見・ご感想

- 表紙は季節感のある写真の方が良かった。
- 「村民の声を聴く会」は、参加人数・参加年齢層などは載せられないのか？写真もどの会場も同じような感じ。おもしろくない。
- 情報量が多くて仕方ないかもしれないが、もう少し字が大きいと見やすいです。
- 要望書提出は画像が掲載されていました。リアルな感じは伝わりましたが、記事の方が読みやすかった気がします。
- モニターの声のフォントが異なるのは、とても良いなと改めて思いました。
- 〈募集〉若者議会は、最後のページの方が目立ってよいと思いました。
- 表紙の明るい子どもたちと大人の表情が素晴らしく、どんな活動をしているのだろう。「かま塾」にスポットを当て、3名のインタビューも的を射ていて良かったです。きらきら村の仲間たちのようなコーナー紹介は、各区の運営にも生かせると思います。
- 誌面全体が横書きのため読みやすく、字の大きさ、太字を使った箇所とのバランスが良いと思います。
- 「村民の声を聴く会」は、各地区の参加者数、全体の参加者数が記されていない。各地区の役員及び三役から数名が参加する施策を講じてはどうですか。
- 基本条例の検証結果の評価は、あまり意味がわかりません。
- 広報モニターをお受けしたことによって、初めて「議会だより」全面に目を通させて頂きました。日頃、住みやすい村と感じながら生活していますが、いろいろな立場や側面から見ると、改善すべきところが多々あるのだと感じました。これから議会に関心を持って真面目に勉強させていただきます。
- 議会だよりを読み始めて5年位になりますが、以前のものよりとても読みやすくなっていると本当に感じます。議員のようす、こんなことをやっているんだ…知らなかった！と感じることがたくさんあります。これからも楽しみに読みたいと思います。
- 表紙と「きらきら村の仲間たち」で取り上げられた神子柴区のかま塾の紹介は、地元にもスポットをあて、地域移行が進む中で地域の方々や次世代

をになう子どもたちとの関わりが伝わる内容で良かったです。他地区の活動を知りたいと思いましたが、写真のサポーターの方々は存じ上げていますが、日々「子どもたちのために」と活動しており頭が下がる思いです。

- 議会だよりのモニターに応募してから、村のウェブサイトに掲載されている議会だよりのバックナンバーを少し拝見しました。議会だより誌面に対する意見・感想ではありませんが、議会だよりは、最新号と令和5年度までのバックナンバーがありますが、144号はどのようにしたら閲覧できるのかわかりません。お忙しいですが、なるべく早く、バックナンバーには直前号まで掲載していただければと思います。

- 村民の声を聴く会：生の声を取り上げられる良い機会となっている。さまざまな要望を体系的にまとめ上げ、改善に向けた次のステップに進む作業に期待。

- 一般質問：各議員が良く勉強され、苦勞されていることが理解できる。一方で、難しい文言、外来語(IT用語)が散見される(例：フィルタリング、GIGAスクール等)。カッコ付きにして、誰もが理解できる日本語・単語を添える工夫を期待する。耐震化、今回は、能登地震の教訓から耐震化の質問が多い。但し、村の耐震化の実態・実状が理解できる内容かと言うとそうは見えない。例えば、能登クラスの地震に耐えられる耐震化が、村はどのようなのか？全体像(俯瞰的な)を含め、数値化した理解しやすい説明が必要ではないか？(例：下水道 上水道の全体長に対し何%が耐震化されているか？どの地域に課題があるか？等)

- 一般質問のなかで、防災に関係した質問に対して、かなり幅広く答弁をされていることで参考になりました。防災に関しては日頃からの心構えと同時に、防災マップ等を参考に村の取り組みに対して期待しています。これからも、必要な情報を議会だよりを通じて提供をお願いします。

《議会に対するご意見》は

こちらからご覧いただけます。



編集後記

私が注目していた東京都知事選の投票率は前回は5.6%上回り、平成以降2番目に高い60.6%でした。何かと話題が多く都民の関心が高かったことが大きな要因でしょう。村議会活動についても多くの村民の皆様に関心を持っていただけるよう、読みたくなる議会だよりをお届けしてまいりたいと思います。(太田篤己)

広報委員会委員長	三澤 澄子
副委員長	笹沼 美保
委員	西森 一博
	山崎 文直
	百瀬 輝和
	太田 篤己
	唐澤 由江